

グループホームやまと 令和4年度第6回運営推進会議 報告書

開催日	令和5年3月14日（火）			
開催場所	グループホームやまと			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	利用者の家族	1名	地域包括支援センター	1名
	地域住民の代表	1名	認知症の人と家族の会代表	1名
	元ご利用者家族	1名		
事業所出席者	施設長		副施設長	
	グループホーム管理者		相談員	
欠席者	副施設長			

1. 利用状況報告について

令和5年3月10日 現在

入居者の状況	入居人数（18名） 男性（2名） 女性（16名）
	要介護1（3名） 要介護2（6名） 要介護3（7名）
	要介護4（2名） 要介護5（0名） 平均要介護度（2.4）
	年齢（平均88歳）（最若75歳）（最高104歳）

大山ユニット～要介護1（3名） 要介護2（2名） 要介護3（4名） 要介護4（0名）
要介護5（0名） 平均要介護度（2.1）

和みユニット～要介護1（0名） 要介護2（4名） 要介護3（3名） 要介護4（2名）
要介護5（0名） 平均要介護度（2.8）

2. 事故ヒヤリハット報告と対応： ◆R5.1/11～R5.3/10

内 容	件数	状 況
ずり落ち	3件	・居室にて車椅子から床にずり落ちあり（ブレーキ掛かってない）左肩から肘に痛みあり受診骨折の所見なしの診断後腫脹見られ再受診左肩ヒビの診断あり。・居室内車椅子からのずり落ちありその際もブレーキかかっていない⇒本人持ちの車椅子が今の状態に合っていない為検討現在変更、行動把握情報の共有、対応 センサーマット検討・・家族様了解の元1人勤務の時のみ設置 - 同じような事故又見守り実施の中事故に繋がる可能性がある為是正予防処置にて再度周知行う。 ・以前老人車使用の方 誤嚥性肺炎退院後車椅子使用となる洗面後車椅子で移動されベッドに移乗されるがベッドからずり落ちあり。⇒本人の状況に合わせ都度環境を整える、今後リハビリ評価にてリハビリ検討。
転 倒	1件	・リビングより居室に戻られる際転倒痛みあり病院受診、右大腿骨頸部骨折の為入院⇒退院後本人の状況をみながら環境等整えていく。

ヒヤリハット	8件	・食事をかき込む傾向有喉詰め、誤嚥のリスクあり。・退院後歩行不安定の方が自室にて自力歩行される。・歯ブラシで顔を強くこする（髭剃りと勘違いの可能性あり）・居室内の日常動作が理解できなくなっている。・ベッドの柵を外しておられる。・ベッドの高さがいつもより高くなっている。・駐車場フェンスまで出ておられる、職員他利用者介助中で気づいていない。・退院後状態変化に伴いリスク確認。
--------	----	--

※センサーマット購入、転倒骨折後の方を主に予防的(長期使用しない)に活用している。

利用者の思い生活習慣、状態変化を見極め、都度環境を考えながら事故につながらないように支援していく。小さな気づきから大きな事故を防いでいく。

3. 活動の状況 (R5.1/11~R5.3/10)

月 日	内 容	状 況
1/22	新年会行事	大山ユニットご利用者
2/15	臨床美術（コースター）	両ユニットご利用者
3/3	ひな祭り行事	両ユニットご利用者
1/1 誕生者	1名	両ユニットご利用者
【定 期】	お好み弁当（月 1 回）中止	
	オレンジカフェ 中止	
	なでしこクラブ 中止	
	めだかクラブ 中止	
毎週水曜日	ボンジュールパン販売	配達のみ実施
毎月 1 日	散髪 1/23 2/21	実施（髪染めは職員が行う）

4. 研修等（職員）の状況（R5.1/11~R5.3/10）

月 日	内 容	備 考
11・12月	栄養ケア研修	全職員対象
	安全運転研修	全職員対象
11月	人権研修「利用者の人権を考える」	全職員対象
	非難訓練	対象職員
	せん妄について	大山ユニット職員
11~1月	コンプライアンス研修	全職員対象
	医療福祉学会	全職員対象
	救命救急講習	全職員対象

5. その他

- ・次年度の活動予定

◎防災訓練

5月・・・日中火災想定

7月・・・洪水想定

11月・・夜間火災想定

◎救命講習

8月・12月予定

【意見交換より】

Y 氏 : コールマットは床に足を下ろすとすぐに職員が来るため、不信感をもたれることにも繋がるので注意が必要。

現在インフルエンザが流行っている。色々な感染症が流行っているので配慮しないといけない。

チャレンジする精神を持っているのが認知症予防になる。臀部の筋肉を使って効果的な散歩をして欲しい。

MCI 程度の方だった場合、そこからサロンや地域包括などに繋いでいく事が大切。ほっておくと悪化してしまう場合がある。

ヒアリングフレイル、アイフレイルの観点も持って欲しい。

F 氏 : 面会が窓越しは寂しかった。直接会えるようになったなら良かった。

地域包括 : 動けなくなってからや認知症が進んでからの相談が増えている。

相談が少ない宇田川地区から全戸訪問してみようと考えている。

フレイルについての認知度は実感として向上している。

統計での介護の理由→令和4年度：認知症が1位

K 氏 : どの地区も民生委員のなり手がいない。